

中学校版「SOSの出し方指導プラン」

- 1 ねらい 相談することのよさやしづらさについて理解し、自分が相談する相手について考えることができるようにする。
- 2 準備 ワークシート A3版用紙 ホワイトボード
掲示用カード（悩み1～3、「もう、イヤ!」、「そうだ、相談しよう」）
- 3 展開

過程 (時間)	主な学習活動 ☆：生徒の反応	指導上の留意点及び支援
(10分)	<p>1. 黒板に貼られたカードを見て、自分だったらどんな気持ちになるか考える。 ☆もう、嫌だ! ☆悲しい・・・ ☆苦しい・・・</p> <p>2. 悩みを小さくしたり解消したりするためには、相談することがよいと気づき、本時の課題について知る。 ☆相談する。 ☆話を聞いてもらう。 ☆誰かに話をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に「悩み」（勉強面、部活動、友達関係）を1枚ずつ貼りながら、そのときの気持ちをそれぞれ問いかける。 ・悩みを抱えた時一人で解消できない場合は、どうしたらよいかを尋ね、相談することに目を向けられるようにする。 ・相談するという意見が出なかった場合は、「悩みを抱えているとき、友達に話をしたり、おうちの人に話を聞いてもらったりすることはないですか？」と例を挙げる。 ・生徒から「相談する」「話をする」「話を聞いてもらう」といった発言が出た場合はそれを認め、「そうだ、相談しよう」のカードを掲示する。
めあて：「相談」について考えよう。		
(15分)	<p>3. 相談することのよさを考えて、ワークシートに記入する。 ☆考えが整理できる。 ☆アドバイスがもらえる。 ☆気持ちが和らぐ。</p> <p>4. 相談するよさをグループ内で発表し、思ったことを伝え合う。 ☆やっぱり相談するのって、よいんだな。 ☆でも相談って難しいな。</p> <p>5. 相談しづらい理由を考えて、ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談することのよさが分からない生徒が「書けない」と発言した場合は、その気持ちを受け止め、なぜ書けないのかを考えるように促す。 ・グループの話合いの様子を聞き取りながら、生徒の考える相談のよさやしづらさについて、他のグループに伝えたり、黒板に板書したりすることで、生徒の考えが深まるようにする。 ・どちらも書けない生徒へは、相談した経験があるか質問し、ある場合はそのときの気持ちを書くように指示し、ない場合

	<p>☆分かってほしかったのに、「気にするな」と言われたことがあった。</p> <p>☆相談すると、自分をさらけ出しているようで恥ずかしい。</p> <p>☆的確なアドバイスをもらえなかったり、どうせ最後は自分が決定したりするのだから相談しても無駄だと思う。</p> <p>☆相談したら、怒られると思うと、相談できない。</p> <p>☆相談相手に時間を取ってもらったり、悩ませたりして迷惑をかける気がする。</p> <p>6. 相談しづらい理由を、グループで発表し、伝え合う。</p> <p>☆相談って難しい面もあるんだな。</p> <p>☆相談できるかと思ったけど、どうかな</p>	<p>は相談しなかった理由を相談しづらさに書くように指示する。</p> <p>・グループを周りながら、教師は意見を整理したり要約したりしながら板書し、相談について様々な考えがあることを実感できるようにする。</p>
(15分)	<p>7. 教師の話聞き、人に頼らないことが本当の自立ではないことを理解する。</p>	<p>・大人でも困ったときは相談したり人に力を借りたりすることがあることを伝える。</p> <p>・一人で何とかしようとすることで、状況を悪くしてしまうこともあると伝える。</p> <p>・「先生からのアドバイス」を黒板に掲示する。</p>
<p>先生からのアドバイス</p> <p>△：一人で何とかしようとして、状況が悪化することがある →取り返しが見つからない</p> <p>○：一人で解決できないことは、人に頼ったり協力したりして解決することが、自分の考えを広げるきっかけになることがある。</p>		
	<p>☆そうか、相談してもいいのかもしれない。</p> <p>☆難しいけれど、試してみようかな。</p> <p>8. グループでどんな相手になら相談できるかを話し合い、その後、クラス全体で共有する。</p> <p>☆話をして、安心できる人</p>	<p>・まずワークシートにどんな相手なら相談できそうかを各個人で考えて、記入する。</p> <p>・グループに、A3用紙を配布し、個人で書いた意見を、シートに書き込みながら、意見を交換する。</p> <p>・移動式ホワイトボードにグループでまと</p>

	<p>☆信頼できる人 ☆ちゃんと聞いてくれる人</p> <p>9. ワークシートに「誰なら相談できそうか」を記入する。</p> <p>☆ □□さん ☆ お母さん ☆ △△先生</p>	<p>めたシートを貼り、生徒を集合させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒からよいつぶやきが聞こえたら、拾い上げ称賛し、全体で共有する。 ・書かれた意見を全体で共有し「自分だったら誰に相談するか」をワークシートに書くように伝える。 ・相談相手を書けない生徒には「急に考えても出てこないこともあります。悩みを誰かに相談したくなったら、思いつくかもしれません。」と声を掛ける。
(10分)	10. 授業内容の振り返り、感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談のよさや、自分が相談できる相手がいることに目が向けられるような内容を書いている生徒には、称賛し全体に広げる。

板書計画

黒板

悩みが重なった！

どんなに勉強しても。
成績が・・・

勝利目指して
頑張ってる
部活したいのに・・・

友達に誤解された！
わかってくれない・・・

もう、イヤッ！

そうだ、相談しよう！

悩みがあったとき、どうする？

一人になる 寝る LINEで相談
動画見て気分解消

相談すると、こんなによい点が！

考えが整理できる。アドバイスもらえる。ほっとする。
気持ちが和らぐ。コミュニケーションがとれる。

でも、ここが相談しづらい・・・

分かってもらえない。相談しても無駄。
誰に相談すればいいか分からない。
相手に迷惑をかける。弱い人間だと思われたくない。

課題：「相談」について考えよう。

先生からのアドバイス

△：一人で何とかしようとして、状況が悪化することがある
→取り返しがつかない

○：一人で解決できないことは、人に頼ったり協力したりして解決することが、自分の考えを広げるきっかけになることがある。

相談名人を目指そう！

ホワイトボード

どんな相手に相談しようかな？

<p>相談するなら、こんな人 信頼できる人 安心感がある人 しっかり聞いてくれる人</p>	<p>相談するなら、こんな人 必要なら注意してくれる人 的確にアドバイスをくれる人</p>	<p>相談するなら、こんな人 優しい人 裏切らない人</p>
<p>相談するなら、こんな人 茶化さない人 同じ環境の人</p>	<p>相談するなら、こんな人 おうちの人 分かってくれる人</p>	<p>相談するなら、こんな人 受け入れてくれる人 同じ気持ちと言ってくれる人</p>

日頃から、相談できそうな人を考えておくといいのかもしれないね。

「相談」について考えよう。

年 組 番 名前 ()

相談することのよさは何だろうか？

でも相談しづらい理由は？

☆どんな相手なら相談できる??

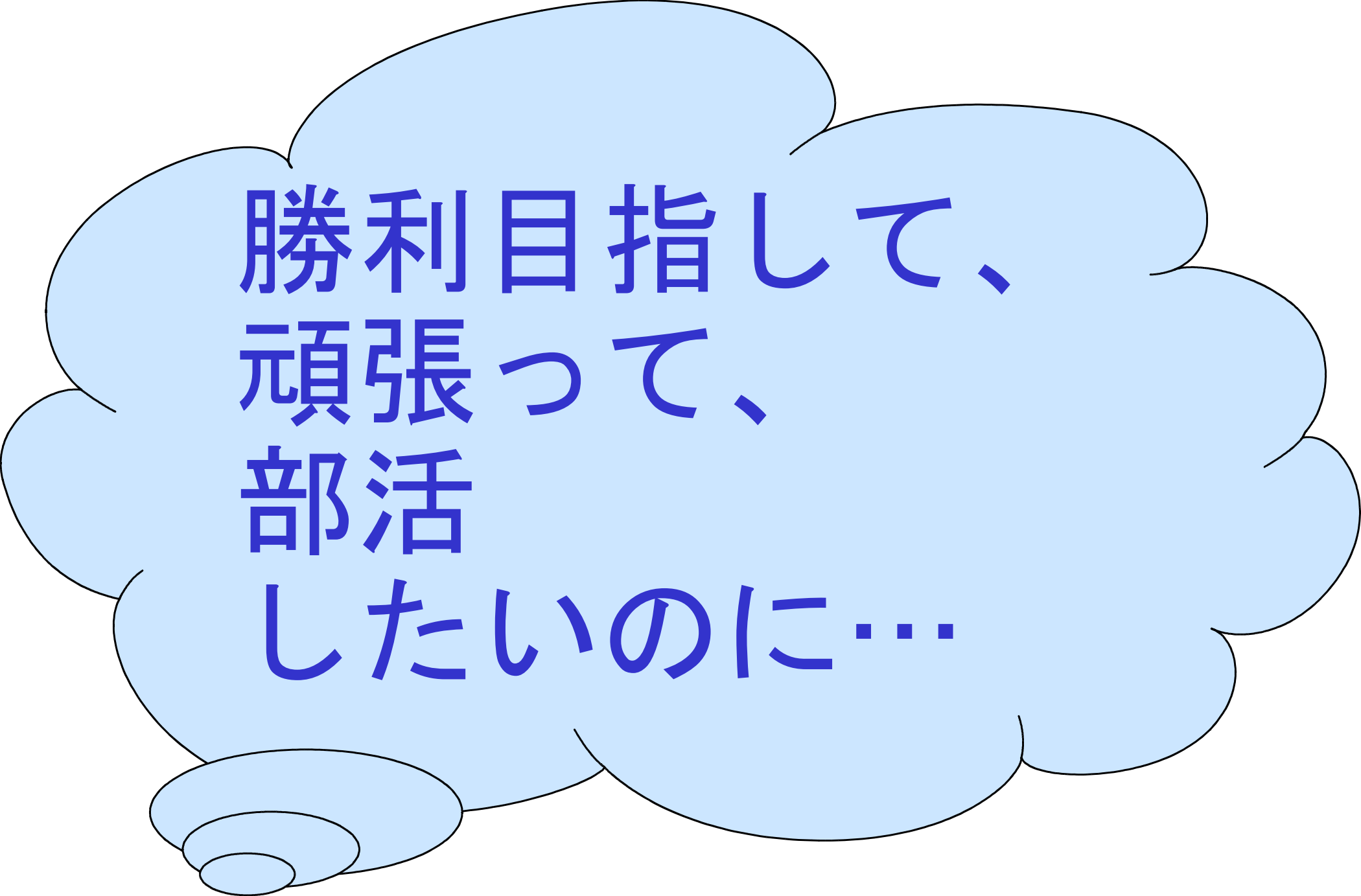
(相談するなら、こんな人)

日頃から、誰に相談するか考えておいてもよいですね。

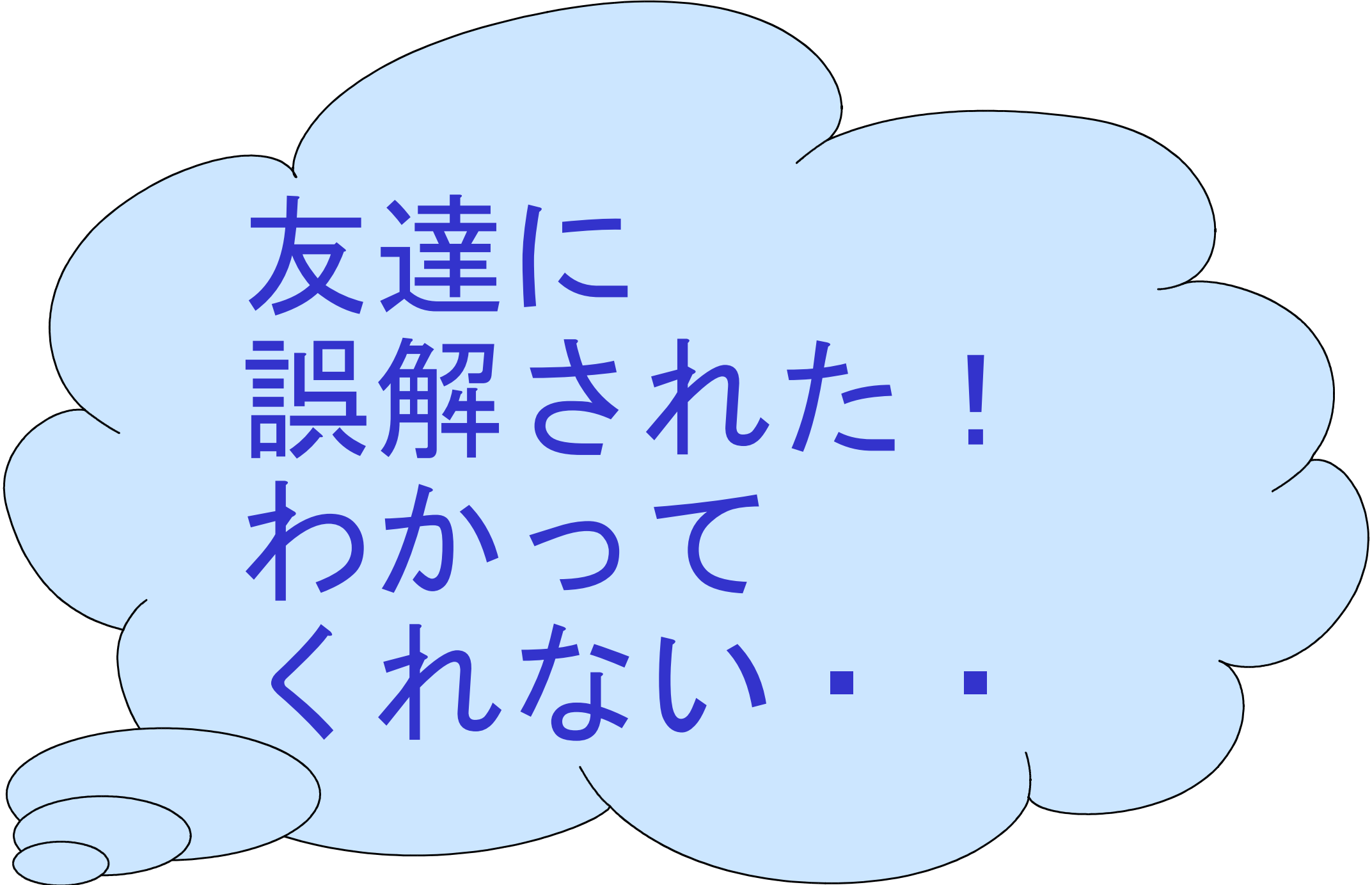
☆今日の授業を振り返って、感想を
書きましょう。

Blank area for writing reflections, enclosed in a dashed-line border.

どんなに勉強
しても、
成績が . . .



勝利目指して、
頑張っ
部活
したいのに…



友達に
誤解された！
わかって
くれない・・・

**もう、
イヤッ！**

そうだ、
相談しよう！